

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	令和2年5月29日
担当課名	上下水道課
グループ名	水道グループ
記入者名	

1 事業概要		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業			
(1)事業名	配水及び給水費	(5)予算・財源等の別						
(4)第5次総振での位置づけ		(1)会計区分	水道事業					
①基本目標	生活環境の整備	(2)財源区分	町単独					
②大項目	上水道	(3)予算科目	款	1	項	1	目	2
③中項目	安全な水道	(4)予算事業名	配水及び給水費					
④施策		(7)総合戦略						
⑤施策コード	4・1・1・0	掲載ページ	86	ページ				
(6)実施根拠		(1)総合戦略 (該当事業名)	無					
①事務分類(自治・受託)	自治事務	(3)事業期間	開始	不明	年		月から	
②根拠法令	水道法	終了	未定	年		月まで		

2 事業の目的・対象及び内容		(3)手段(内容・どのような取り組みか)
(1)目的(何の目的に行うか)	安全でおいしい水の安定供給	配水管の修繕及び他課関連工事等による配水管切り回し工事、増圧施設の維持管理
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	需要者	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
対象数	29,197	安全・安心・安定した水道水の供給
単位	人	

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

人口減少に伴う料金収入の減少の中、水道施設は近い将来に大規模な更新が必要となる一方、安全な水道水の供給や災害時等にも安定的な給水を行うための取り組みがより一層求められています。

3 事業のコスト(実績・予算・決算)		(単位:千円)				
(1)事業(内容)名称	配水及び給水費 (下記の決算金額は「税込額」、決算書は「税抜額」のため一致しません)					
項目	決算・予算年度	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度決算	2年度予算
(2)事業費内訳	委託料	8,797	7,886	8,725	7,053	5,913
	工事請負費	20,199	13,577	21,406	20,207	38,643
	修繕費	3,752	6,818	5,907	7,015	6,600
	舗装復旧費	16,814	1,137	3,655	1,111	4,950
	動力費	5,270	5,689	5,691	5,896	7,260
	その他	3,848	4,079	3,987	5,080	4,308
	直接事業費合計	58,680	39,186	49,371	46,362	67,674
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	58,680	39,186	49,371	46,362	67,674
	合計	58,680	39,186	49,371	46,362	67,674
(4)補助金名						
(5)人件費	投入職員数	1.50	0.97	1.26	1.31	1.35
	年間人件費	12,081	7,519	8,138	8,966	10,572
(6)総事業費		70,761	46,705	57,509	55,328	78,246
	サービス量(人)	30,694	30,191	29,660	29,197	29,197
	サービス単価(単位)	2,300	1,500	1,900	1,900	2,700
		円/需要者1人あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)			配水及び給水費		
指標名		単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)					
指標名	漏水修繕工事	目標値	件	-	-
		実績値	件	44	57
		達成率	%	-	-
		目標値			
		実績値			
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)					
指標名	有収率 ※給水する水量と料金として収入の あった水量との比率	目標値	%	90.0	90.0
		実績値	%	88.3	86.8
		達成率	%	98.1	96.4
	「上水道」についての住民満足度 (総振目標指標p86) R2年度目標値 62.0%	目標値	%	62.0	62.0
		実績値	%	-	50.5
達成率	%	-	81.5		
(3)その他指標に現れない成果					
配水管等の修繕や増圧施設の安定的なメンテナンスにより、安定した水道水の供給ができています。 ※「上水道」についての住民満足度、実施値、達成率は毎年調査できないため空欄です。					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性が高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(工事箇所数の増減に左右されるため。)
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(継続的な事業の実施により、成果の向上が見込まれる。)
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)					
安全でおいしい水を安定して供給するため、自己水源を確保するとともに県水の利用を継続します。また、老朽化した水道施設を計画的に更新するとともに、基幹施設の耐震化を進める必要があります。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)		(3)最終評価 (町長)	
評価	2				
説明	施設の維持管理は、老朽化に伴い増大するため、今後も計画的に進めていく。				